

## アキュラホーム、2018年度業績概況について

株式会社アキュラホーム(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:宮沢俊哉)2018年度(2019年2月期)の業績は、売上高38,744百万円、営業利益105百万円、経常利益108百万円、当期純利益59百万円となりました。

### 当期間概況

当期における我が国経済は、企業収益が5年連続の過去最高益を更新する中、設備投資の増加、雇用・所得環境の改善、それに伴う個人消費の持ち直しもあって、緩やかながら経済の好循環が進展しています。一方、海外における米中間の通商問題が世界経済に与える影響や、欧州でのブレグジット等の不確実性の高まりから、消費マインドには依然として慎重な側面があるといえます。

このような状況の中、当社グループでは創業40周年記念事業として、日本を代表とする建築家や和紙作家のプロデュースによる展示場をオープン、実物大耐震実験の実施、51邸規模で若葉台に展開するまちづくり事業等を通じて、グループ全体で住宅および住宅関連事業を拡大、展開しました。また、近年高まる木造建築の可能性の追求として取組んできた、中大規模木造建築の「住まいと暮らしサロン(つくば支店)」、新素材CLTを活用した「キラクノイエ(港北展示場)」、大空間を演出するラミナ張弦梁工法を採用した「ヒルサイドテラス若葉台センターハウス」が揃ってグッドデザイン賞とウッドデザイン賞のダブル受賞となりました。

### 事業部門別概要

#### ■住宅建築事業部門

住宅建築及び不動産を扱う事業では、大型商戦に合わせて提案型商品をリリースいたしました。年間最大の商戦であるゴールデンウィークには、日本政府のエネルギー基本計画における住宅についての目標に呼応して、環境に貢献と同時に住む人の経済的負担軽減に寄与する住まいを提供する「MIRAI ZEH+」、シルバーウィークにはコト消費を重視するミレニアル世代の価値観に応える提案型商品「おうちスタイル」を販売。更に正月商戦ではそれを更にパワーアップした「おうちスタイル NEO」を発表、高い性能と豊かな暮らし方提案が好評を博し、2月の受注棟数は過去最高を記録しました。

以上の結果、当事業セグメントでは、受注棟数1,678棟、引渡棟数1,323棟となり、売上高は38,005百万円となりました。

#### ■工務店支援事業部門

工務店へのノウハウ提供及び工務店ネットワーク「ジャープネット」の運営を行う工務店支援事業においては、永代ビルダー塾を中心に、地域密着型ビルダーが経営ノウハウを共有し合う循環型ネットワークの推進に努めました。また、共同購買の一環として戦略性のある共同仕入れアイテムを展開し、会員企業の業績向上を推進しました。一方、会員企業の中には後継者不在で廃業するケースなど会員数が減少傾向にあり、今後更なる質の向上を目指し事業内容の抜本的な見直しをはかり「新体系構築」および「会員企業にとって役立つ、場と機会の提供」について検討を進めてきました。以上の結果、当事業セグメントでの売上高は739百万円となりました。

#### ■2020年2月期は売上高525億円が目標

2019年度は、アキュラグループでは完工棟数1,665棟(2018年度比5.0%増)、売上高525億円を目指しています。

<報道関係からのお問い合わせ>

株式会社アキュラホーム 広報課 西口・山本 Email : [aqura\\_pr@aqura.co.jp](mailto:aqura_pr@aqura.co.jp)

住所 : 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル34F

TEL : 03-6302-5010 (直通) FAX : 03-5909-5570

連結決算 (※)

2018年度 (2019年2月期) の連結業績 (2018年3月1日～2019年2月28日)

損益計算書

(単位:百万円、%は対前期増減率)

区 分	平成 28 年度 (2017年2月期)		平成 29 年度 (2018年2月期)		平成 30 年度 (2019年2月期)	
	金額	%	金額	%	金額	%
売 上 高	38,017	1.7	40,309	6.0	38,744	△3.8
営 業 利 益	1,053	19.8	856	△18.7	105	△87.7
経 常 利 益	1,075	△5.2	901	△16.1	108	△88.0
当 期 純 利 益	523	9.6	521	△0.3	59	△88.6

貸借対照表

(単位:百万円、%は対前期増減率)

区 分	平成 28 年度 (2017年2月期)		平成 29 年度 (2018年2月期)		平成 30 年度 (2019年2月期)	
	金額	%	金額	%	金額	%
総 資 産	19,333	△1.1	20,345	5.2	20,893	2.6
総 負 債	12,365	△5.0	12,870	4.0	13,372	3.9
純 資 産	6,968	6.7	7,474	7.2	7,520	0.6

受注・完工棟数

(%は対前期増減率)

区 分	平成 28 年度 (2017年2月期)		平成 29 年度 (2018年2月期)		平成 30 年度 (2019年2月期)	
	棟	%	棟	%	棟	%
受 注 棟 数	1,638	△2.9	1,589	△2.9	1,678	5.6
完 工 棟 数	1,375	0.4	1,429	3.9	1,323	△7.4

(連結対象子会社)

(株)アキュラホーム埼玉中央、(株)アキュラホーム東京中央、(株)アキュラホーム埼玉西  
(株)ハウスロジコム

(※) 平成 30 年度は連結損益計算書、新会社株主に帰属する当期純利益、連結貸借対照表となります。

【トピック】 未来を見据えた取り組みとして、住まいと暮らしに関する調査研究を行う住生活研究所では「住まい手が参加する研究会」を始動、また、木材に対する知見と技術を活かして木製ストロー AQURAS (アキュラス) を開発、一本のストローから持続可能な社会への貢献を目指す新プロジェクトもスタートし、新たな分野におけるチャレンジも行っています。

<アキュラホーム会社概要>

社名 株式会社アキュラホーム

代表取締役社長 宮沢俊哉

所在地 東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 34F 電話 03-6302-5001 (代)

創業 1978 (昭和 53) 年 10 月 資本金 9,314 万円 従業員数 1,277 名 (平成 31 年 4 月 1 日現在)

事業 建築工事・設計施工・販売、住宅総合研究・開発・コンサルティング

ホームページ <http://www.aqura.co.jp>